

VERSAPASS® DN v2 Magenta

安全データシート



2012 - JIS Z7253による

発行日 2018/06/15

バージョン: 1.0

項 1: 製品および会社の識別

製品特定名

製品名 : VERSAPASS® DN v2 Magenta

推奨用途 : インク及びトナー

使用上の制限 : 追加情報なし

会社情報

Memjet Ltd.

61-62 Fitzwilliam Lane

Dublin, Ireland

T +353 1 678 0420 - F +1-858-798-3044

msds@memjet.com - www.memjet.com

緊急連絡電話番号 : CHEMTREC (24時間) +1-703-527-3887

項 2: 危険有害性の要約

物質/混合物の分類

に準ずる分類

皮膚腐食性又は皮膚刺激性 区分3

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1

水生環境有害性(長期間) 区分3

ラベル要素

ラベル

絵表示 (GHS)



GHS07

GHS08

注意喚起語 (GHS) : 危険

危険有害性情報(GHS) : H316 - 軽度の皮膚刺激
H319 - 強い眼刺激
H370 - 臓器の障害
H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き(GHS) : P260 - 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。
P264 - 取扱い後はよく手、前腕および顔を洗うこと。
P270 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

VERSAPASS® DN v2 Magenta

安全データシート

2012 - JIS Z7253による

P273 - 環境への放出を避けること。

P280 - 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P305+P351+P338 -

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308+P311 - ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P321 - 特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。

P332+P313 - 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断 / 手当てを受けること。

P337+P313 - 眼の刺激が続く場合：医師の診断 / 手当てを受けること。

P405 - 施錠して保管すること。

P501 - 規制に準拠して内容物/容器を廃棄してください。

分類に寄与しないその他の危険有害性

追加情報なし

項 3: 組成及び成分情報

物質

適用されない

混合物

名前	製品特定名	日本の識別子	%
水 (Water)	(CAS 番号) 7732-18-5	CHRIP_ID: C005-857-55A Nikkaji: J43.587B	75 - 85
エチレングリコール (Ethylene glycol)	(CAS 番号) 107-21-1	MITI: 2-230 PRTR: 1-43	8
1,4-ジ(2-ヒドロキシエトキシ)ブチン-2 (Ethoxylated acetylenic diols)	(CAS 番号) 1606-85-5	MITI: 2-2445	1 - 5
Proprietary magenta dye	(CAS 番号) not assigned		1 - 5
2,4,7,9-Tetramethyl-5-decyne-4,7-diol ethoxylate	(CAS 番号) 9014-85-1	CHRIP_ID C012-941-44A	0.1 - 1

項 4: 応急措置

応急処置対策

吸入した場合：吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で優しく洗うこと。

眼に入った場合：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：飲み込んだ場合、水で口をすすぐこと。(意識がある場合のみ)。

VERSAPASS® DN v2 Magenta

安全データシート

2012 - JIS Z7253による

最も重要な症状/作用(急性および遅延)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 症状/損傷 皮膚に付着した場合 | : 軽度の皮膚刺激。 |
| 症状/損傷 眼に入った場合 | : 強い眼刺激。 |
| 症状/損傷 飲み込んだ場合 | : 通常の使用でなし。臓器の障害 |

医師による救急処置または特殊な処置に関する注意事項

- | | |
|--------------|------------|
| 医師に対する特別注意事項 | : 不要特別な手順。 |
|--------------|------------|

項 5: 火災時の措置

消火剤

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 適した消火剤 | : 周辺火災に適した消火剤を使用すること。 |
| 使ってはならない消火剤 | : 認知済みのものは無し。 |

物質または混合物に起因する、固有の有害性

- | | |
|-------|----------------------------|
| 火災危険性 | : 特定の火災危険有害性または爆発危険有害性はない。 |
| 爆発の危険 | : 製品は爆発性でない。 |
| 反応性 | : 知らない危険な反応はしない。 |

消火活動を行う上での注意事項

- | | |
|---------|---|
| 消火方法 | : あらゆる化学物質火災は慎重に消火すること。周辺火災に適した消火剤を使用すること。 |
| 消火時の保護具 | : 呼吸用保護具を含む適切な保護具を着用せずに火災区域に入ってはならない。防火服 / 防災服 / 耐火服を着用すること。自給式呼吸装置を着用する。EN469。 |

項 6: 漏出時の措置

注意事項、保護具と緊急時処置

- | | |
|-------|--|
| 一般的措置 | : 眼および皮膚との接触を全て避けると共に、蒸気およびミストを吸引しないようにすること。 |
|-------|--|

非緊急対応者

- | | |
|------|---|
| 保護具 | : 皮膚および眼との接触を避けること。適切な手袋を着用すること。ブチルゴム手袋。天然ゴム手袋。 |
| 応急処置 | : 無用な人員を退避させること。リスクを伴わずに可能なら、漏出を止めること。 |

緊急対応者

- | | |
|------|---|
| 保護具 | : 眼および皮膚との接触を全て避けると共に、蒸気およびミストを吸引しないようにすること。適切な防護服と手袋を着用すること。Butyl rubber。ゴム。液体の飛まつに対して保護するために設計された目の保護を使用してください。 |
| 応急処置 | : 安全に対処できるならば漏えい (洩) を止めること。 |

環境に対する注意事項

- 排水管または環境中に放出してはならない。

VERSAPASS® DN v2 Magenta

安全データシート

2012 - JIS Z7253による

流出防止および清掃に使用する方法および資材

追加情報なし

項 7: 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項

衛生対策 : 取扱い後はよく手、前腕および顔 を洗うこと。

禁忌を含む安全な保管条件

安全な保管条件 : 元の容器に保管してください。熱から遠ざけて保管すること。

項 8: ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

追加情報なし

ばく露防止 - 危機管理対策

設備対策 : 飛沫の発生を防ぐこと。特別な作業慣行は、通常の使用の予想の条件下で上記の推奨を超えて必要とされない。

個人用保護具

手の保護具 : 適切な手袋を着用のこと。ブチルゴム手袋。天然ゴム手袋。EN374。

眼の保護具 : 飛沫に起因した眼接触の可能性がある場合には飛沫保護ゴーグルを使用すること。

呼吸用保護具 : 特別な呼吸保護具は、十分な換気と通常の使用条件で推奨されていません。

項 9: 物理的及び化学的性質

物理的および化学的な基礎物性に関するデータ

物理的状态 : 液体

外観 : 深紅色 液体。

色 : 深紅色

臭い : 利用できない

臭気閾値 : 利用できない

pH : 7.1

融点 : 利用できない

凝固点 : 利用できない

沸点 : 利用できない

引火点 : 利用できない

VERSAPASS® DN v2 Magenta

安全データシート

2012 - JIS Z7253による

蒸発速度 (酢酸ブチル = 1)	: 利用できない
燃焼性(固体、気体)	: 利用できない
爆発限界	: 利用できない
蒸気圧	: 利用できない
相対蒸気密度 (20 °C)	: > 1
比重	: 利用できない
溶解度	: 利用できない
Log Kow	: 利用できない
自然発火温度	: 利用できない
分解温度	: 利用できない
動粘性率	: 利用できない
動的粘度	: 利用できない

その他の情報

利用できない

項 10: 安定性及び反応性

化学的安定性	: 製品は通常の取り扱いと保管条件で安定しています。
避けるべき条件	: から遠ざける 混触危険物質
危険有害な分解生成物	: 危険な分解生成物は知られていない。
混触危険物質	: 酸化剤
危険有害反応可能性	: 危険有害性の重合は発生しない。
反応性	: 知らない危険な反応はしない

項 11: 有害性情報

11.1. 毒物学上の作用に関するデータ

急性毒性 (経口)	: 区分外
急性毒性 (経皮)	: 区分外
急性毒性 (吸入)	: 区分外

VERSAPASS® DN v2 Magenta

安全データシート

2012 - JIS Z7253による

1,4-ジ(2-ヒドロキシエトキシ)ブチン-2 (Ethoxylated acetylenic diols) (1606-85-5)

LD50 経口 ラット	1230 mg/kg (Based on similar product)
-------------	---------------------------------------

2,4,7,9-Tetramethyl-5-decyne-4,7-diol ethoxylate (9014-85-1)

LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg
LC50 吸入 ラット (mg/l)	> 2 mg/l/4h

エチレングリコール (Ethylene glycol) (107-21-1)

LD50 経皮 ラット	> 3500 mg/kg mouse
LC50 吸入 ラット (mg/l)	> 2.5 mg/l/4h

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 軽度の皮膚刺激。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 強い眼刺激。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 臓器の障害。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分外

2,4,7,9-Tetramethyl-5-decyne-4,7-diol ethoxylate (9014-85-1)

NOAEL (亜急性、経口、動物/オス、28日)	200 mg/kg bodyweight
-----------------------------	----------------------

エチレングリコール (Ethylene glycol) (107-21-1)

LOAEL (経口、ラット、90日)	1000 mg/kg体重/日
NOAEL (経口、ラット、90日)	150 mg/kg体重/日 kidney

吸引性呼吸器有害性	: (確定的だが分類には不十分)
潜在的な健康有害性及び症状	: 強い眼刺激。

11.2. 最も重要な症状/作用(急性および遅延)

症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 軽度の皮膚刺激。
症状/損傷 眼に入った場合	: 強い眼刺激。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の使用でなし。臓器の障害。

項 12: 環境影響情報

12.1. 毒性

生態系 - 全般	: 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。
----------	---------------------------

VERSAPASS® DN v2 Magenta

安全データシート

2012 - JIS Z7253による

水生環境有害性(急性)	: 利用できない
水生環境有害性(長期間)	: 長期継続的影響によって水生生物に有害。
その他の情報	: 排水管または環境中に放出してはならない。

2,4,7,9-Tetramethyl-5-decyne-4,7-diol ethoxylate (9014-85-1)	
LC50 魚 1	52.5 mg/l juvenile <i>S. maximus</i>
EC50 ミジンコ 1	166 mg/l
ErC50 (藻類)	15 mg/l
NOEC 藻類 慢性	1 mg/l

エチレングリコール (Ethylene glycol) (107-21-1)	
LC50 魚 1	72860 mg/l <i>Pimephales promelas</i>
EC50 ミジンコ 1	> 100 mg/l
NOEC 魚 慢性	15380 mg/l <i>Pimephales promelas</i>
NOEC 甲殻類 慢性	8590 mg/l <i>Ceriodaphnia</i> sp.

残留性・分解性

VERSAPASS® DN v2 Magenta	
残留性・分解性	確立されていない。

2,4,7,9-Tetramethyl-5-decyne-4,7-diol ethoxylate (9014-85-1)	
残留性・分解性	易生分解性ではない。

エチレングリコール (Ethylene glycol) (107-21-1)	
残留性・分解性	容易に生分解。

生体蓄積性

2,4,7,9-Tetramethyl-5-decyne-4,7-diol ethoxylate (9014-85-1)	
生物濃縮係数 (BCF REACH)	< 24
生体蓄積性	生体内蓄積しません。

エチレングリコール (Ethylene glycol) (107-21-1)	
Log Pow	- 1.36
生体蓄積性	生体内蓄積しません。

土壌中の移動性

VERSAPASS® DN v2 Magenta	
生態系 - 土壌	追加情報なし。

その他の有害な影響

その他の情報	: 排水管または環境中に放出してはならない。
--------	------------------------

VERSAPASS® DN v2 Magenta

安全データシート

2012 - JIS Z7253による

項 13: 廃棄上の注意

推奨廃棄方法 : 国内/地域の規制に従って安全な方法で廃棄してください。

残余廃棄物 : 環境への放出を避けること。

項 14: 輸送上の注意

国内および国際的な規制

輸送規則の定義上危険物に該当しない。

その他の情報

追加情報なし

項 15: 適用法令

安全、健康、環境の保護に係わる規則、物質または混合物を対象とする個別法令規則

日本の規制

労働安全衛生法第57-2 MSDS要求物質	エチレングリコール Ethylene glycol: 安衛法番号2-230
PRTRと化学物質管理法、クラス1物質の推進	エチレングリコール Ethylene glycol: 番号1-43
毒物劇物は法を制御	規制されていない

消防法	規制されていない
-----	----------

項 16: その他の情報

参考文献 : ACGIH (American Conference of Government Industrial Hygienists)。
欧州化学品庁 (ECHA) C&Lインベントリデータベース。アクセス先
<http://echa.europa.eu/web/guest/information-on-chemicals/cl-inventory-database>。
米国防火協会；危険有害性物質に対する防火指針；第10版。
Krister Forsberg and S.Z. Mansdorf, "Quick Selection Guide to Chemical Protective Clothing", Fifth Edition。
製造者情報。
US National Library of Medicine National Institutes of Health Haz-Map.
Accessed at <http://hazmap.nlm.nih.gov>。

VERSAPASS® DN v2 Magenta

安全データシート

2012 - JIS Z7253による

省略表記

: ACGIH (American Conference of Government Industrial Hygienists)

ATE - Acute Toxicity Estimate

CAS (ケミカルアブストラクツサービス) 番号

CLP : 分類、表示に関する、包装。

EC50 : 試験集団の50%が反応する環境濃度。

GHS : (化学品の分類および表示に関する) 世界調和システム。

LD50 : 50%致死量

TWA : 時間加重平均

SDS Prepared by:

The Redstone Group
6077 Frantz Rd.
Suite 206
Dublin, OH USA 43017
T 614-923-7472
www.redstonegrp.com

本書は、あくまで本製品の健康、安全性、環境への配慮等に関わる情報のみを、現在の知見に基づき記載するものであり、製品に関する何らかの特性を保証するものではない。